港区中学生広島派遣事業
「見て、聞いて、伝える。ヒロシマ平和学習」

港区中学生広島派遣事業は、中学生とその保護者を対象として、港区内での事前研修や２泊３日の広島派遣研修を通じて平和について学ぶ事業です。

このパネルでは、令和８年度の派遣事業の様子を紹介します。

● 事前研修

事前研修では、東京の戦争被害や外国で起きている戦争について学びました。



東京への空襲についての学習



ウクライナから避難してきた方と交流



戦災ＶＲの体験

● 広島派遣研修１日目

全国の中学生と平和について話し合った後、原爆資料館に行きました。



被爆体験者の講演



平和についてのグループワーク



広島平和記念資料館

● 広島派遣研修２日目

平和記念式典など、様々な平和関連行事に参加しました。



平和記念式典



区民が折った千羽鶴を奉納しました



全国の中学生の平和活動報告を聞きました

広島派遣研修３日目

平和記念公園や被爆建物を見学し、原爆の被害について学びました。



ガイドによる平和記念公園平和関連ツアー



原爆ドーム



広島市役所旧庁舎資料展示室

活動報告会

事前研修や広島派遣研修で学んだことを、自分の言葉で発表しました。

中学生の発表の一部

実際に原爆ドームや広島平和記念資料館に
行き、当時の写真を見て、
私は「なぜこんなことをしたのだろう」と
強く憤りを感じました。

Tさん

被爆者の方のお話を聞いた後、グループで
感じたことや考えたことを話し合い、
実際に体験した方の言葉だからこそ伝わる
ものがあると感じました。

Nさん

平和記念公園内にある平和の灯は核兵器が
世界からなくなるまで消えることがありません。
私は原爆がこの世からなくなり、
平和の灯が消えることを願っています。

Aさん



「平和のつどい」で成果を発表

４月から５月に参加者を募集予定！
広報みなとやホームページをチェックしてみよう！